

世田谷区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『世田谷 往古来今』</p> <p>世田谷区は、区制85周年を契機として、平成29年6月から新たな区史編さんに取り組んでおります。区史編さん事業に至るまで、さまざまな遺跡発掘や古文書調査などを進めてまいりました。本書ではその成果を踏まえ、区の歴史をわかりやすく紹介しています。平成29年10月発行。</p>	1,100円
	<p>『世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例施設整備マニュアル（建築物編・道路編・資料編）』</p> <p>世田谷区では、すべての人が公共的施設を円滑に利用できるように、建築物をはじめ、道路、公園などの整備のための基準を定めています。本マニュアルは、これらの基準を具体的にわかりやすく解説したものです。設計者向けですが、ユニバーサルデザインによる整備方法のテキスト集としてもご利用いただけます。</p>	550円
	<p>『せたがやの文化財』</p> <p>世田谷区では昭和52年に世田谷区文化財保護条例を制定し、文化財の保護に取り組んできました。区内にある国・都及び区指定文化財を「寺院と歴史」、「世田谷の神社と芸能」などのテーマに分けて写真で紹介しています。平成21年3月発行。</p>	732円
	<p>『世田谷区基本計画（令和6年度～令和13年度）』</p> <p>世田谷区の最上位計画です。「住民自治の確立－参加と社会的包摂－」「環境と調和した地域社会の実現」「自治権の拡充と持続可能な自治体経営の推進」この3つの基本方針のもと、分野別の政策と、横断的に取り組む6つの重点政策を示しています。</p>	1,500円

	<p>『世田谷区都市計画図（地域地区・都市施設等）』</p> <p>区内の都市計画を表示した縮尺1万1千分の1の地図です。都市計画図1（用途地域などの地域地区）と都市計画図2（都市計画道路などの都市計画施設）のセットです。</p>	<p>1,045円</p>
	<p>『風景づくり計画 27年4月版』</p> <p>世田谷らしい風景づくりを総合的に推進していくための制度や考え方を示した計画です。区民の風景づくり活動の充実を図るとともに、届出制度の活用などにより事業者の風景づくりに対する理解・配慮を求めることで、地域特性に合ったきめ細やかな風景づくりを進めています。</p>	<p>880円</p>
	<p>『世田谷区都市整備方針（第一部・第二部）』</p> <p>都市計画法第18条の2に基づく、世田谷区の都市づくり・街づくりの基本方針です。区全体の都市づくりの基本方針を定めた第一部と、地域のまちの姿や地区の特性を踏まえた身近な街づくりの方針である第二部から構成されています。</p>	<p>1,870円</p>
	<p>『せたがや街並み図鑑』</p> <p>私たちの暮らしの中で身近なところにちりばめられた都市計画について、写真を中心に構成した新感覚のまち歩きガイドです。天気の良い日は、本書を片手に都市計画を見に街歩きなどはいかがでしょうか。</p>	<p>1,210円</p>
	<p>『世田谷の歴史と文化』</p> <p>約3万数千年前の地層から、打製石斧・ナイフ形石器などが見つかっています（下山遺跡・瀬田遺跡）。これが世田谷における最も古い生活の痕跡です。以後、途切れることなく世田谷の地に人々が暮らし、歴史を刻み続けてきました。本書は先土器時代から現代に至るまでの世田谷の歴史と文化を、写真・図表をふんだんに使って、わかりやすく解説しています。</p>	<p>880円</p>
	<p>『ボロ市の歴史』</p> <p>年末年始の風物詩として広く一般に親しまれている「ボロ市」（世田谷区指定無形民俗文化財）の変遷の歴史を辿ります。「ボロ市」は、天正6年（1578年）に時の小田原城主・北条氏政が開いた「楽市」を起源とします。開設当初は、月に6回開かれる六斎市でしたが、時代とともに変化し、現在の形態（12月15・16日、1月15・16日の4日間開催）となりました。</p>	<p>157円</p>